

つくば市 青少年相談員だより

〈編集・発行〉

つくば市青少年相談員連絡協議会

事務局 つくば市教育局生涯学習推進課内

つくば市研究学園一丁目1番地1

電話 029-883-1111 (代)

青少年相談員は次のようなことに取り組むため、つくば市教育長から委嘱されています。

つくば市青少年相談員連絡協議会は、60名(令和7年3月1日現在)の相談員から組織されています。市内6支部(大穂・豊里・谷田部・桜・筑波・荃崎)で、各地域に根ざした活動を展開しています。

●声かけ・相談等の青少年支援

通学路等でのあいさつ

青少年への相談対応・声かけ運動



●青少年に関する機関との連携

県主催行事への参加

学校等での情報収集・警察と連携した活動

●普及啓発活動及び社会環境健全化活動

「青少年の健全育成に協力する店」店舗訪問

広報活動・学校の長期休業中の巡回活動

●その他 青少年健全育成に資する活動

会議・市主催事業への協力

会長挨拶

つくば市青少年相談員連絡協議会長 中山 正巳

日頃から、つくば市青少年相談員連絡協議会の活動に御理解と御協力をいただき、お礼申し上げます。

青少年相談員の活動は、子どもたちの健全育成を願い、元気で明るい笑顔と声を絶やさなため、各地域において活動をしています。令和6年度には市内の小・中・義務教育学校が県内で最多の50校となり、子どもの増加とともに活動範囲も広がっています。

「あいさつ・声かけ運動」や「マナーアップ運動」など、さまざまな活動を通じて学校や関係団体等との連携をより密にし、子どもたちの変化に気づき、健やかな成長ができる環境を整えるための活動を「継続は力なり」で続けていきたいと考えておりますので、皆様の御理解と御協力を引き続きよろしくお願いいたします。

茨城県青少年相談員連絡協議会

令和6年12月10日(火)に、つくば市役2階201会議室において「茨城県青少年相談員連絡協議会第5ブロック研修会」(実施主体:土浦市、石岡市、つくば市、かすみがうら市、茨城県)が開催され、つくば市青少年相談員26名をはじめとする総勢87名が参加をしました。

研修会は2部構成で行われ、第1部は全国各地で活躍されている、(株)ステップ総合研究所長でありNPO法人体験型安全教育支援機構代表理事でもある清永奈穂(きよなが なほ)様を講師に迎え貴重な講演をしていただきました。

第2部では、4市の代表者による各市の青少年相談員活動事例発表がありました。

第1部及び第2部ともに皆さん真剣に聞き入り、今後の相談員活動に大いに役立つ内容でありました。

青少年相談員表彰

県青少年相談員連絡協議会は、長年活動した青少年相談員に県知事ほう賞や功労者表彰を授与しています。

本年度、つくば市から2名の方が受賞されました。

茨城県知事ほう賞(永年活動者) 1名
功労者表彰(退任者) 1名

つくば市は、市民の生活と文化の向上に特に功績があったもの及び特に市民の模範となる行為があったものに、功労表彰を授与しています。

本年度、つくば市表彰として13名の方が表彰されました。

社会教育に尽力された方 13名

支部の活動

つくば市内にある6つの支部（大穂・豊里・谷田部・桜・筑波・荃崎）の活動を紹介します。

大穂支部



私たちは、令和6年度より始まった、大穂学園コミュニティ・スクールの大穂中学校の活動に参加しています。具体的には、生徒たちの自転車通学中の交通事故を防ぐために、毎月第2・4月曜日の朝、コミュニティ・スクールのメンバーとともに、学校北側の交通量の多い交差点で、あいさつ運動を兼ねた交通安全指導を行っています。

生徒たちと元気にあいさつを交わすことで、私たちも元気をもらっています。

また、ドライバーの方々の中にはあいさつを交わしてくれる方も増え、活動のやりがいを強く感じております。

豊里支部



師走に入り寒さに負けず第一・第三月曜日に、つくば市更生保護女性会豊里支部や先生、生徒会、保護者と協力し「見守り・声かけ・挨拶運動」を実施しております。

登下校途中の店舗等をまわり、協力依頼をしてステッカーを交付し、目立つ所に貼って頂いております。

最近では、闇バイトでの凶悪な事件が起こり心配ですが、当地区で今現在、地域住民や各種団体等皆様のご協力をいただき、事件もなく平穏無事に過ごし、子どもたちも安心して学校に通っています。

今後も地域の皆さん・PTA・学校・関係各種団体など協力し、青少年の健全育成のために微力ながらも取り組んでいきたいと思っております。

谷田部支部



昨年3校の小学校が開校しましたが、本年もみどりの南小学校・中学校が新設され、相談員もあいさつ声かけ活動に参加し、子供たちの元気な姿に触れることができました。

また、11月の谷田部地区市民文化祭に昨年に引き続き参加しました。市民体育館のエントランスで出展した場所では、あいさつ活動の写真紹介や市からの広報チラシやティッシュの配布とともに、ブースで貝殻ペンダント作りや箱庭砂遊び体験を用意しました。子供たちの参加で楽しいときを過ごさせて頂きました。

みなさま、今後ともよろしくお願い致します。

桜支部



【継続的な地域見守り活動】

毎週火曜日の朝、地区内小中学校の通学路に立ち、「マナーアップ運動」として、あいさつ・声かけを実施、また年に数回は相談員が集合し学校校門前にてこの活動を行います。本年度は、7月9日に桜中学校、9月10日に竹園東中学校でマナーアップ運動を行いました。

そのほか、昨年に引き続き青少年の健全育成に協力して下さる店舗を回り、一店舗ずつ伺い、県のステッカーを貼っていただいたり、古いものは新しいステッカーに交換しながら、お店の人と地域の青少年の様子などを聞き、引き続き協力していただくようお願いしています。

児童生徒たちや店舗の方々と直接声を交わし、確認するという事は、地域の安全な環境づくりにとっても大切なことです。これからも地道ではありますが、継続的な地域見守り活動を行い、子どもたちの健全育成に尽力していきたいと思っています。

筑波支部



10月17日(木)筑波山南麓の田井地区にあるNP0法人自然生クラブの活動拠点となる田井ミュージアム(つくば市神郡)を11名で訪問しました。写真は代表の柳瀬さんよりお話を伺っているところです。これまでの自然生クラブの生い立ちや歴史、NP0法人になった理由、現在の活動等詳しく説明していただきました。

また、訪問当日には、秋の芸術祭に向けての絵画制作、演劇発表の舞台練習を見ることができました。また、芸術文化を通して個々の知的ハンディキャップのある人たちの個性を育む生き生きとした活動に接することができました。

短時間の訪問ではありましたが、とても有意義なものとなりました。

荃崎支部



【荃崎第三小学校にて】

学校より遠い子どもたちは歩いて30分以上かかります。

安心安全な通学のために、通路の送迎ボランティアの人々が見守っております。

特に、桜ヶ丘お花会及び宝陽台の人々は、大変協力的に活動しております。

子どもたちも「おはよう」という言葉に、最初はなかなか声が出ない子が毎日の「おはよう」の言葉につられ声が出てきます。うれしい限りです。毎日の実行が充実します。

青少年相談員は、正門にて活動しています。

皆様の身近なところで活動しています。お気軽にご相談ください。

